

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針	教職員	①私は、学校教育目標や教育方針を理解し、達成できるよう努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>・学校の目標と方針の理解の度合いは教職員が100%、児童と地域の理解も80%台であるが、保護者の理解度が他の比べて70%台とやや低い状態である。</p>
	児童	①私は、学級目標や個人目標を達成するために努力している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>・引き続き教育目標や教育方針について周知を徹底していく。</p>
	保護者	①私は、学校教育目標や教育方針を知っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・地域よりも保護者の意識が低いことが気になっている。 ・ホームページや便り等で知らせていくことを続けていってほしい。</p>
	地域	①私は、学校教育目標や教育方針を理解している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学級経営	教職員	②私は、児童のよさや可能性を發揮できる学級経営を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果について の分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童、保護者、地域からの肯定的な評価に大きな差はなかった。 ・教職員の「わからない・無答」については担任をしていない等の職種の違いによる。
	児童	②私は、学級での生活が楽しいと感じている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□系列1 □系列2 □系列3 □系列4 □系列5</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級の取組だけでなく、縦割り遊びなどの特別活動やゲストティーチャーを活用した授業など、全校規模の取組を通して一人一人が安心して力を發揮できる学校づくりを進めていく。
	保護者	②学校は、児童のよさや可能性を發揮できる学級づくりをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね良い結果であったと思う。 ・地域との関係性はとても良いと感じている。
	地域	②学校は、児童のよさや可能性を發揮できる学級経営を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学習指導①	教職員	③私は、児童が意見を主体的に発表したり、他者の意見を聞いたりして学びを深める授業を実践している。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね肯定的な評価であるが、他と比較すると教職員が「そう思う」と答える割合が低い。 ・地域の「わからない・無答」については、学校の中に入ることがないために答えられないという旨であった。 ・教職員の「わからない・無答」は授業を担当していない職員の回答である。
	児童	③私は、自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれながら勉強している。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「一人残らず学ぶ教室」の実現を図るために授業改善を進めていく。
	保護者	③学校は、児童が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き様々な取組を進めていってほしい。 ・教職員が「そう思う」と自信をもって答えられるようになってほしい。
	地域	③学校は、児童が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。		

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学習指導	教職員	④私は、学習目標達成のために学習用端末や大型モニタ等のICT機器を活用して、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね肯定的な回答である。 ・昨年度の結果より教職員の肯定的な回答が上昇している。 ・今年度後半より学習用端末の持ち帰りと活用が始まり、保護者が目にする機会も増えている。 ・教職員の「わからない・無答」は授業を担当していない職員の回答である。
	児童	④私は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりして、積極的に授業に参加している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き学校や家庭での活用を「リテラシー」「マナー」の両面から指導しながらICT機器の活用を進めていく。
	保護者	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりも活用できている様子が良い。 ・家庭での使い方等について、引き続き保護者からもアンケート等で意見を募りながら進めてほしい。
	地域	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
体力	教職員	⑤私(学校)は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の回答が昨年度よりも上昇している。 ・体力向上について、それぞれから肯定的な評価が多かった。
	児童	⑤私は、体育や休み時間に、校庭や体育館などいろいろな運動をして、体力をつけようと努力している。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業だけでなく、運動の日常化を目指して体育部を中心に様々な取組を引き続き進めていく。
	保護者	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の認識が向上していることが良い。 ・子供たちが「良く取り組んでいる」と認識ができることは、そうとらえられるように指導している教職員に感謝である。
	地域	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。		

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導①	教職員	⑥私は、児童の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭と連携・協力しながら対応している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各調査主体間の大きな差はないが、児童の肯定的な回答が低い。
	児童	⑥私は、いじめやトラブルなどの問題に対して、先生やおうちの人に相談し、一緒に解決しようとしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「相談してよかった」と振り返ることができるよう、引き続き子供たちに寄り添いながら生徒指導を進めていく。
	保護者	⑥学校は、いじめやトラブルなどの問題に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員と保護者の回答傾向が似ているのは連携が取れているということだと考える。 ・児童の生徒指導上の課題に対して組織的な活動を増やしてほしい。 ・児童の中に、まだ大人が拾い切れていない声があるのではないか。 ・地域の「分からない」が多いのが気になる。行事等でもっと学校まで足を運んでもらえるとよいのではないか。
	地域	⑥学校は、児童の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導②	教職員	⑦私は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね肯定的な評価である。
	児童	⑦私は、自分のよさや可能性を伸ばしたり、友達との関わりを大切にしながら、自分の目標に向かって行動したりしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き現在の取組を進めていく。
	保護者	⑦学校は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域にも理解を深めてもらえる取組があるとさらに良いのではないかと。
	地域	⑦学校は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
特別支援教育	教職員	⑧私は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>26%</td></tr> <tr><td>②</td><td>58%</td></tr> <tr><td>③</td><td>5%</td></tr> <tr><td>④</td><td>11%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	26%	②	58%	③	5%	④	11%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね肯定的な回答である。 ・教職員の「わからない・無答」は授業を担当していない職員の回答である。
	評価項目	割合														
	①	26%														
	②	58%														
③	5%															
④	11%															
⑤	0%															
児童	⑧私は、苦手なことなどを、先生やおうちの人に相談し、一緒に解決しようとしている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>38%</td></tr> <tr><td>②</td><td>40%</td></tr> <tr><td>③</td><td>16%</td></tr> <tr><td>④</td><td>6%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	38%	②	40%	③	16%	④	6%	⑤	0%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き特別支援教育の視点を持った指導、取組を進めていく。 	
評価項目	割合															
①	38%															
②	40%															
③	16%															
④	6%															
⑤	0%															
保護者	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>28%</td></tr> <tr><td>②</td><td>54%</td></tr> <tr><td>③</td><td>16%</td></tr> <tr><td>④</td><td>2%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	28%	②	54%	③	16%	④	2%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き特別支援教育の視点を持った指導、取組を進めてほしい。 	
評価項目	割合															
①	28%															
②	54%															
③	16%															
④	2%															
⑤	0%															
地域	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>36%</td></tr> <tr><td>②</td><td>36%</td></tr> <tr><td>③</td><td>8%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>20%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	36%	②	36%	③	8%	④	0%	⑤	20%		
評価項目	割合															
①	36%															
②	36%															
③	8%															
④	0%															
⑤	20%															

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
地域とともにある学校	教職員	◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。	<table border="1"> <tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>32%</td></tr> <tr><td>②</td><td>68%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価結果	割合	①	32%	②	68%	③	0%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の回答は昨年度より向上し、肯定的な回答が100%であった。 ・保護者の回答が他の回答と比べると肯定的な回答の割合が低い。
	評価結果	割合														
	①	32%														
	②	68%														
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															
児童			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保護者」と「地域」と分けてとらえるのではなく、一体となって取り組んでいる意識を持てるような取り組み、周知を進めていく。 													
保護者	◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに協力している。	<table border="1"> <tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>31%</td></tr> <tr><td>②</td><td>44%</td></tr> <tr><td>③</td><td>20%</td></tr> <tr><td>④</td><td>5%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価結果	割合	①	31%	②	44%	③	20%	④	5%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に対する保護者の意識については、気になるので一層の周知などの活動が必要ではないか。 ・数値としてみると、決して「理解が得られていない」というものではないが、他と比較してしまうと目立ってしまう。 	
評価結果	割合															
①	31%															
②	44%															
③	20%															
④	5%															
⑤	0%															
地域	◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。	<table border="1"> <tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>52%</td></tr> <tr><td>②</td><td>44%</td></tr> <tr><td>③</td><td>4%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価結果	割合	①	52%	②	44%	③	4%	④	0%	⑤	0%		
評価結果	割合															
①	52%															
②	44%															
③	4%															
④	0%															
⑤	0%															

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察													
働き方改革	教職員	⑩私は、働き方改革の目的を理解し、業務改善を進め、心身ともに健康であるよう努めながら、教科指導や教育相談等に係る時間を増やし、教育の維持・向上に努めている。	<table border="1"> <caption>評価結果の割合</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>26%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>42%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>32%</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	割合	①	26%	②	42%	③	32%	④	0%	⑤	0%	評価結果について の分析・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の意識として、働き方改革を進めていく難しさを感じている状態である。 ・目的等は理解できているが、実行できているかどうかという視点で見ると課題がある。
	評価項目	割合															
	①	26%															
	②	42%															
③	32%																
④	0%																
⑤	0%																
児童			課題解決への方策	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的な取組で済まらず、学校全体の取組として仕組みから改善を引き続き図っていく。 													
保護者			学校関係者評価委員会による評価	<ul style="list-style-type: none"> ・およそ3分の1が「あまりそう思わない」と回答している。働き方改革の難しさが見える。 ・今後も少しずつでよいので改善を図ってほしい。 													
地域																	